



下田湾を一周する黒船遊覧船



吉田松陰遺跡に飾られている松陰先生の肖像画

幕末の志士たちに影響を与えた松陰先生

1854年、松陰先生は世界の情勢を知るために、下田に来航していたペリーの旗艦ポーハタン号に乗り付け、通訳ウィリアムズに必死の交渉を続けましたが断られ、今の福浦へ送り返されました。先生はその後、自らの「至誠」の精神を貫き、自首し拘禁されました。自らがした行動を隠さなかったことで、この話題は世間に広がり、当時の志士たちに影響を与えました。この時、先生は25歳でした。

COLUMN

数々の英才を育てた松陰先生

松陰先生は山口県萩の生まれで、下田で拘禁された後に故郷・萩に護送されました。その後、叔父が主宰していた松下村塾の名を引き継ぎ開塾。身分や階級にとらわれず学びたい者を塾生として受け入れ、久坂玄端、高杉晋作、木戸孝允、伊藤博文、山県有朋、品川弥二郎など多くの英才を輩出しました。松陰先生の志は門下生たちに受け継がれ、明治維新の原動力となりました。



弁天島にある密航時の様子を伝える画



TITLE 教えて松陰先生

吉田松陰先生
幕末の歴史
黒船密航
松下村塾

下田
SHIMODA

30

COLORS PROJECT



下田の旬の情報は 公式アカウントで!

風景、遊び、グルメなど。
下田の旬の情報を公式アカウントで発信中。
ぜひ、アクセスしてみてください!



公式ホームページ

<https://www.shimoda-city.info>

Instagram: [shimoda_kanko](#) YouTube: [@shimodakanko](#)
Facebook: [下田市観光協会](#) Twitter: [@shimoda_kanko](#)



あなたの素敵な写真を
#下田 で投稿してください

伊豆下田で あなたにぴったりの 旅が見つかる

30

COLORS PROJECT



下田市観光協会公式サイトで
下田 30 カラーズを
ご覧いただけます。

下田 30 カラーズ



ライブカメラで 下田の今を生配信



Live Shimoda



お得なクーポン付 下田ガイドマップ 市内各所で配布中

配布スポット

下田市観光協会、下田市観光協会駅前案内所、道の駅開国下田みなと、下田市内各施設、下田市内各宿泊施設など

下田 30 COLORS PROJECT

企画・編集・発行
一般社団法人 下田市観光協会
TEL.0558-22-1531

※本紙掲載の料金は、原則として消費税込みですが、実際の料金と異なる場合があります。
※本紙の著作権は下田市観光協会が有しております。
※許可無く、使用されている画像の流用・転載などは固くお断りします。

松陰先生の志を感じる下田巡り

下田における密航失敗。それは明治維新への引き金でした。松陰先生ゆかりの史跡を巡りながら、先生の志を感じてみませんか。

① 吉田松陰寓寄処 黒船搭乗前に潜んだ家

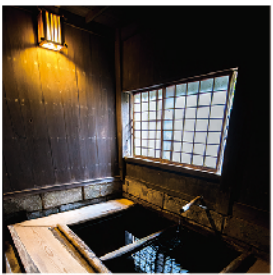
松陰先生が海外密航を企てる前、皮膚病治療のため蓮台寺温泉を訪れ、こちらの邸宅の医師・村山行馬郎にお世話になりました。蓮台寺湯の華小径にあるこちらの邸宅には当時、松陰先生が浸かったとされる風呂や寝泊まりした部屋を見学することができます。



茅葺屋根に情緒を感じる施設

DATA

電話 / 0558-23-5055(市教育委員会) 料金 / 100円 時間 / 10:00~16:00
定休日 / 水曜日 住所 / 下田市蓮台寺 300



上 / 松陰先生が湯治をした浴槽
右 / 松陰先生が居住していた2階の部屋



MEMO

蓮台寺湯の華小径

開湯より300年。温泉情緒たどる石畳の小径には、温泉が湧き出るスポットや雰囲気ある古民家が並び、下田の奥座敷として静かな時が流れています。

② 松陰先生と重輔像「踏海の朝」 一緒に記念撮影はいかが

松陰先生が金子重輔と共に小舟に乗って漕ぎだされたところは、弁天祠の辺りでした。その裏側に造成された柿崎弁天島は公園になっており、二人の銅像が下田湾を見据えながら立っています。また、柿崎弁天島入口左には先生自筆の字を拡大して彫った七生説の碑が建っています。七生説は安政3年4月15日、先生27歳の時の作です。この碑を版画したものが玉泉寺のハリス記念館に展示されています。



先生と重輔の像



七生説の碑

MEMO

柿崎弁天島

造成された島は公園となっています。下田湾を眺めながらくつろげる芝生広場となっていますので、散歩の途中に休憩所としてご利用ください。

③ 玉泉寺 ハリス記念館

松陰先生の遺品や開国関連資料を展示

玉泉寺境内にある記念館。ハリスの遺品の数々、ペリー黒船関連資料、日本最古の銀板写真、飯塚捨児画伯の黒船来航図(20点)等を展示する資料館です。松陰先生が借用された袷服や硯等が展示されています。これらはペリー乗船のボート番号に潜り込んだ先生が志成らず、上の山の名主平右衛門宅に自首した折りに名主より借用した衣服だと伝えられています。

DATA

電話 / 0558-22-1287 料金 / 500円 時間 / 8:30~17:00(最終入館 16:30)
定休日 / 年中無休 住所 / 下田市柿崎 31-6



松陰先生ゆかりの品が並ぶ館内



松陰先生が幽閉された名主 平右衛門の蔵の鬼瓦

POINT 吉田松陰先生 早わかり年表

- 1830年(天保元) 8月4日。長門国萩(山口県萩市)松本村に杉家の次男として生まれる。
- 1839年(天保10) 萩(長門)藩の藩校・明倫館で初めて山鹿流兵学を教える。このとき、松陰は10歳。
- 1842年(天保13) 叔父の玉木文之進が松下村塾を開き、松陰も入塾する。その後九州、江戸、東北など国内を遊学し、さらに学問を重ねる。
- 1853年(嘉永6) 江戸を出発し、ロシア艦隊の来航した長崎へ向かう。しかし、松陰が長崎に到着する前にプチャーチン率いるロシア艦隊は長崎を去り、目的は果たせず。
- 1854年(嘉永7) 下田にて、金子重輔とともにペリー艦隊へ乗船し、密航を企てるが失敗。海外渡航の罪を自首し、下田の牢屋へ。その後、江戸の伝馬町牢獄へ入れられる。この時、松陰は25歳。金子重輔とともに江戸から萩へ送還。この頃から、松陰は「二十一回猛士」の号を使用し始める。翌年釈放され、実家に戻る。
- 1857年(安政4) 松下村塾を引き継ぎ、実家の敷地に松下村塾を開塾。久坂玄瑞、高杉晋作、伊藤博文などが塾生となる。
- 1858年(安政5) 萩・野山獄へ再入獄を命じられる。
- 1859年(安政6) 5月25日、野山獄から江戸に送致される。
10月26日、遺言書ともいえる「留魂録」を書き終える。巻頭の歌は「身はたとひ武蔵の野辺に朽ちぬとも留め置かまし大和魂」
10月27日朝、死罪を申し渡され、同日の午前10時に刑が執行される。享年30歳。

MEMO

松陰先生の生まれ故郷の萩市は 下田市と姉妹都市です

松陰先生の生まれ故郷・山口県萩市。先生との深い関わりから下田市とは姉妹都市として昭和50年から盟約を結んでいます。萩市には今も松下村塾(写真右)や宝物殿 至誠館などがあり、松陰先生の思いを今に伝えています。



山口県萩市観光協会 <http://hagishi.com>

松陰先生が隠れた柿崎弁天社

三島神社に建つ吉田松陰像

松陰の小径
下田湾を眺めながら歩ける遊歩道

三島神社
保田龍門作「吉田松陰像」があります

② 先生と重輔像「踏海の朝」
柿崎弁天島

③ 玉泉寺
ハリス記念館
七生説の碑
柿崎弁天社

④ 伊豆クルーズ
毘沙子島

MEMO

下田柿崎郵便局

先生が黒船へと船を漕ぎだした地・柿崎の郵便局には先生の消印が用意されています。記念にご友人やご自身に宛てたはがきを書いてみては？ ※窓口で直接お申し出ください

吉田松陰上陸記念碑
密航に失敗した松陰先生が黒船を離れ、上陸した地に記念碑が建っています

蓮台寺マップ

※本紙表面に蓮台寺記載

蓮台寺湯の華小径

蓮台寺駅

稲生沢川

① 吉田松陰寓寄処

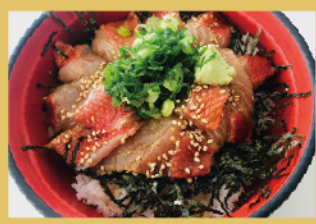
④ 伊豆クルーズ 先生の夢。黒船に乗る

下田湾一周を約20分間でクルージングする遊覧船です。船体はペリー艦隊の旗艦サスケハナ号をモチーフにしています。先生が夢見た海外渡航をイメージしながら乗船してみてください。

電話 / 0558-22-1151 料金 / 1,500円 時間 / 9:10~15:30(1日1便)
定休日 / 無休 住所 / 下田市外ヶ岡 19

GOURMET

歴史散策の合間に下田グルメを！



脂金目づけ丼
A さかなや
魚屋直営の食事処。目の前の市場で魚を仕入れた魚を提供しています。おすすめはこだわりの漬けタレを使用した丼。金目鯛を中心にかんぱちやあじのづけ丼などがあります。そのほか定番の金目煮付け定食や刺身定食などメニューが充実。

営業 / 平日 10:00~15:30(ラストオーダー 15:00) 電話 / 0558-23-0358
定休日 / 不定休 住所 / 下田市外ヶ岡 1-1 道の駅 関国下田みなと1階



そばとうどんの相盛り
B むさし
創業100年を超えるためぎの置き物が目印のそば処。そばとうどんの両方を食べたいというお客さんの声から裏メニューとなっている合盛り。一度に二つの味を楽しむお得なメニューです。

営業 / 11:00~16:00 電話 / 0558-22-0934 定休日 / 火曜日 住所 / 下田市一丁目 13-1



伊勢海老天丼
C 新田
地魚料理から国産ウナギまで食べられる、活魚料理専門店。「伊勢海老天丼」は下田産の伊勢海老を丸ごと一匹使用した、贅沢な一品。一緒に付く伊勢海老の頭が入ったみそ汁は、だしがたっぷり出て磯の香りが漂います。

営業 / 11:00~20:00 ※5・7・8月繁忙期中休みあり 電話 / 0558-22-1672 定休日 / 不定休
住所 / 下田市三丁目 2-12



黒船寿司
D 美松寿司
市街の中心に店を構える寿司処。創業80年を超える老舗で現在は三代目。「黒船寿司」は下田を代表する魚である金目鯛や青魚、アワビやイカ、それにワサビの巻巻きなどバラエティに富んだ内容。あら汁がたっぷり入ったのも嬉しい。

営業 / 11:00~22:00 電話 / 0558-22-0495 定休日 / 不定休 住所 / 下田市二丁目 12-8